

JA松本ハイランド

夢あわせ

ONE TEAM

2022

1

Vol.354

特集

2021フォトコンテスト審査発表!

表紙の詳細は
7ページ!



謹賀新年



スマイルリレー

～笑顔でつなぐ、協同の輪～



年頭の
あいさつ

明けましておめでとうございます。
組合員の皆さまにおかれましては、
健やかにご家族で新春をお迎えのことと
お慶び申し上げます。

代表理事組合長 田中 均

コロナ禍も丸2年、組合員の皆さんの集いの機会が減ってしまつたことは大きな課題でした。しかし、幸い、今までの関係性の蓄積のおかげで事業への影響は最小限にとどまりました。組合員の皆さんとの関係性は、JAの財産です。改めて感謝いたします。

最近「パーパス経営」という言葉が企業で広まっているようです。JAのパーパス(存在意義)は、組合員と地域の皆さんの「営農と暮らしを守る」ことです。

燃料・肥料・資材の高騰、自然災害の発生、農産物価格の下落、後継者不足、高齢化、遊休荒廃地、労働力不足、コロナ禍など課題は山積していますが、協同活動を盛んにして、協同の力でこれらの課題に対処していきたいと思ひます。

協同には、「大きな協同」と「小さな協同」があります。

「大きな協同」により、事業体として経済合理性を追求して経営基盤を強化します。その一つが合併です。令和2年11月に

3JAが合併して、組合員数4万人を超えるJAとなりました。昨年度は、事業分量配当、出資配当で一定の合併メリットの發揮もできました。今年度は、松本ハイランド誕生30周年、さらなる合併効果を發揮するのはこれからです。

もう一つの「小さな協同」とは、組合員の多様性を尊重した地域での協同活動です。JAの活力は協同活動に参加し、貢献しようとする皆さんの意欲に依存します。

地域の皆さんの願いや課題をテーマとして、願いの実現や課題の解決を図るため、支所協同活動運営委員会(仮称)の創設を検討しています。

中島みゆきの「糸」の歌詞のように、縦と横の糸を紡いで、暖かい布を織ることができればと思ひています。笑顔あふれる地域づくりに全員参加で取り組みましょう。

新しい年が、組合員の皆さまにとってより良き年となることを祈念し、年頭のあいさつとさせていただきます。

謹んで
新春のお慶びを
申し上げます

会長

伊藤 茂

代表理事組合長

田中 均

代表理事専務理事

平沢 昭久

常務理事

三村 晴夫

常務理事

上條 満

常務理事

大久保 貴男

代表監事

中沼 博史

代表監事代理

小松 丈史

常勤監事

林 尚雄

ほか役職員一同

農業夢追人

神林・寺家

百瀬 高志さん



農業にはチャンスがある

「当時40歳だった自分でも、農業ならビジネスのチャンスがある。そのなかでも国産が少ないパプリカは挑戦のしがいがあると思ったんだ」と話す百瀬さん。里親のもとで2年間の研修を経てパプリカ農家として独立し、1年目のシーズンを終えました。

就農する前は中学校や高校で教員として勤め、サッカー部の指導も行つなど、15年以上教育の現場に携わつ



Profile

パプリカ13アールを栽培。自分でできることは自分の手で、という思いから、現在ある13棟のハウスに加え、来シーズンにむけて7棟のハウスを自分の手で増設中。「自分の力でなんにでも挑戦できるところが農業の魅力」と笑顔で話す。

ていきましたが、知人の紹介でパプリカ栽培の手伝いを始めたことから農業に興味を持ち、心機一転、就農を決意。自宅のある塩尻市からほ場のある神林地区へ通い、日々農業に励んでいます。「放任しすぎても過保護にしすぎてもよくないのは作物も子どももいっしょ。これまで経験してきた教育の現場と農業は全然違うもののように見えて、通じているところがあっておもしろいよ」とこれま

での経験をいかしながら農業とむきあいます。

「就農を決意したとき、40代で農業未経験。土地も十分な資金もなかった。家とほ場は離れているし、一般的な就農者に比べるとかなり条件が難しかったんじゃないかな」と当時を振り返る百瀬さん。気にかけてくれる里親や周囲の先輩農家、情報を交換する青年部の仲間、手伝いしてくれる昔の同僚たちなど、多くの人とのつながりが農業をつづける支えになっています。また、スマート農業をつまく取り入れることで家とほ場の遠距離のハンデを埋めるなど、自分にあつた農業スタイルを模索し挑戦。「就農のハンデを乗り越えて農業で成功することで、いつでもだれでも農業は始められるっていうことを証明したい。そのために、もいまは堅実にしっかりといいものをつくっていくことが目標だね」と意気込む百瀬さんです。



出荷前はひとつひとつ念入りに品質をチェック



農閑期にハウスの増設を行う

特集

2021フォトコンテスト審査発表!

2021年3月1日から2021年9月30日までの7ヵ月にわたり、田園風景や農産物、食事など“大切な瞬間(とき)”を撮影した作品を募集してきました。今回の応募総数は192点。たくさんのご応募をいただき誠にありがとうございました。

応募作品のうち、入賞作品10作品を、当JAの広報委員会をはじめとする審査員によって厳正に審査を行い、決定。そのなかから、皆さまからの投票でグランプリ、準グランプリを決定いたしました。



タイトル パパと植え物(レタス)のお手伝い

よく畑仕事のお手伝いをしてくれる子供達。植えるcarlに乗る姿も様になっています。

農部門
グランプリ

食部門
グランプリ



タイトル じーじのきゅうりおいしいよ!

きゅうり嫌いな孫が、自分で収穫したきゅうりを初めて食べて、とびきりの笑顔で見せてきました。

**食部門
グランプリ** 講評
子どもを被写体にした数多くの作品の中から抜け出たのは、素材である農産物のインパクトでしょう。画面の半分ほどを占める大胆な構図は他にないものでした。単なる笑顔ではなく、面白がついている表情が相乗効果となりました。

農部門
準グランプリ

タイトル 長いもの収穫

山形村の特産品の長いも掘り取り風景を写しました



**農部門
グランプリ** 講評
構図全体のバランスが良く、マルチが描く線で奥行きを表現しています。子どもたちが作業を手伝っているのが、日常的な風景であることが伝わりました。子ども2人がともに手を動かしている瞬間を捉え、動きのある写真になっています。

食部門
準グランプリ



タイトル 野菜大好き

新鮮野菜は美味しいね



農部門
準グランプリ

タイトル 明日晴れるかな~?

夕方、じいじと田んぼの水を見に行きながらお散歩するのが大好きな娘。天気予報をしながら、夕日を眺めて畔を歩きます。

タイトル 採れたてポリポリ!

仲良しいとこ達で家の畑のきゅうりを収穫。一人一本、その場がぶり!みんなで採って食べると美味しいね!

食部門
準グランプリ



農部門
審査員
特別賞



タイトル じいじと
ネギ植え
市内の祖父母の家に遊びに行き、じいじのお手伝いをしてきました。

農部門
組合長賞



タイトル 元気の源
この笑顔みせに来てくれるだけで、じいちゃんもうひと頑張りできちゃいます!

農部門
入賞

タイトル すいか
いっぱい取れた!

息子をすいかの上に座らせて撮影していたんですが、スイカの間にすっぽりハマってしまった瞬間を撮った写真です。今年は大きいスイカがたくさん収穫できました。



タイトル 日々成長
作物と子供の成長を感じる瞬間です。



タイトル 残雪眩しき春
田んぼに映る残雪がとても眩しく見えました。田植えも終わり、農家の方もひと段落されていることでしょう。



タイトル スイートコーンの種まき

パパのお手伝いを時々頑張っている娘が好きな種まきのお手伝いです。大好きな弟に、美味しく食べてもらうことを想像するととっても頑張れるそうです!!



タイトル 米寿になっても
米寿を迎えてもまだまだ元気です。



食部門
組合長賞



収穫中にあまりにも暑かったので、その場でスイカを切ったのワイルド食いしてからの笑顔

食部門
審査員
特別賞



タイトル 美味しい笑顔
すいかの妖精

食部門
入賞

タイトル なかよし二重奏

夏休みに孫達が来て好きなトウモロコシを競って食べた



タイトル おにぎりに夢中

食べるのに夢中になりすぎて形が崩れてしまっても、青空の下で食べるおにぎりは最高です。



タイトル ガブリ

人生初めてのスイカを美味しくいただきました。



タイトル うわーデカイ!

こんなデカイ巨峰をみた息子が重さも含め、びっくりしてました



タイトル ぼくのもの

畑で採れた大きな冬瓜を孫にもらいました。孫は大喜びでした。



初めてのフォトコンテスト開催ということですが、応募総数192点の中には甲乙つけがたいものがいくつもあり、難しい審査となりました。

各作品が切り取った場面と対象は田園風景、農産物、農作業、食事風景——とさまざままで、テーマを意欲的に表現している写真が多く見られました。

農部門は、「農」と「人」がつくりだす風景に着目しました。構図のバランスが決まっているもの、シャッターチャンスをつかえたものが上位に選ばれました。

食部門は、「食べる」ことを扱ったことで、「人の力(エネルギー)」が浮き出た作品が多いのが印象的でした。被写体を子ども以外に、作物自体の持つ力や郷土料理などへ幅を広げれば、さらに面白くなると思います。



日本農業新聞 信越支局 支局長
高川 麻緒 氏

フォトコンテスト
全体講評



野菜部会生産販売検討会

来年度にむけ生産販売方針を確認

野菜部会は11月30日、グリーンパルで令和3年度野菜部会生産販売検討会を開き、部会代表者やJA役員ら56人が出席しました。今年度の生産・販売経過を振り返ったほか、来年度の生産販売方針について確認。産地情報と消費動向を共有し、有利販売に努めることを報告したほか、生産方針については質と量を兼ね備えた産地づくりに向け、生産基盤の再構築に取り組むことを確認しました。



あいさつする百瀬洋部会長

ぶどう部会生産販売検討会

高単価で販売堅調

ぶどう部会は12月2日、生産販売検討会をグリーンパルで開き、生産者や市場関係者など34人が出席しました。今年度の生産・販売経過を確認するとともに、来年度へむけた課題を検討。同部会の横山竜大部会長はあいさつで「毎年のごとく異常気象になやまされているなかではあるが、今年度は予想以上の高単価で販売いただき、生産者、市場、JAに感謝している」と話しました。



市場担当者と意見を交わす横山部会長(右)

朝日支所野菜生産販売実績検討会

次年度にむけ販売を振り返る

朝日支所野菜委員会は11月26日、朝日村中央公民館で野菜生産販売実績検討会を開き、関係者150人が出席しました。今年度の販売実績を振り返ったほか、品目別に次年度にむけた対策を確認。小林茂委員長は「燃料価格の高騰にともない、さまざまなのが値上げされているなか、野菜の値段はなかなか上がらない。検討会のなかで来年につながるものが得られれば」と期待を込めました。



あいさつする小林委員長

青年部「俺たちの冬期学習会」を開催

青年組織活性化にむけて意見交換会

青年部は12月7日、活力ある青年部活動の展開にむけ、グリーンパルで「俺たちの冬期学習会」を開き、部員40人が参加しました。全国農協青年組織協議会会長の柿島洋一さんを招き「JA青年組織の活性化について」と題して講演。JAをよりどころに地域の仲間と協力して新たな産地形成をすることや農業をするうえで必要な環境をつくる農政運動の大切さなどを話しました。



青年組織の存在意義を熱弁する柿島会長

徹底管理で2年連続受賞

(有)アグリランド松本が農林水産大臣賞を受賞

当JAの子会社(有)アグリランド松本は、12月7日に大阪市の大阪食肉市場(株)で開催された農林水産祭参加の「第74回長野県畜産共進会」(JA全農長野主催)で最優秀賞を受賞しました。また、和牛去勢県内産の部で最高位の特別優秀賞(農林水産大臣賞)を獲得。同社が出品したのは、県内産黒毛和種で、生後29カ月の個体。共進会では、ロス芯面積やバラや皮下脂肪の厚さ、脂肪交雑(サシ)などを審査しました。同社出品品の肉牛は脂肪交雑のランクが最も高いA5に格付けられるなど、高い評価を受け、日ごろの徹底した肥育管理による品質の底上げが実を結びました。

同社の中野浩史常務は「2年連続の受賞となり、大変光栄に思っている。今後も品質の向上と経営改善に努めていきたい」と話しました。



競売のようす



最優秀賞に輝いた牛肉

地域の話

女性参画センター運営会議が表彰を受ける

食と農で地域に笑顔

J A長野中央会とJ A長野県組合長会は松本市のキッセイ文化ホールで「第72回J A長野県大会」を開きました。J A功労者表彰と優良組合員組織表彰顕彰なども行われ、当J Aの女性参画センター運営会議が優良組織表彰を受賞。女性ならではの感度と発想をJ A運営へ反映させることを目的に5つの女性組織を中心に組織化し、さまざまな活動を行ってきたことが評価され、今回の受賞につながりました。



賞状を受け取る大島澄子議長(右)

ウェブで研究集会

教育文化活動への理解を深める

J A長野県中央会が主催した「J A長野県家の光文化活動研究集会」が12月2日に開かれ、同J Aの女性部員や役員が参加しました。中山支部の洞澤秀子さんが記事活用体験を発表。「家の光」を活用した防災術などの活動が評価され、最優秀賞を受賞しました。2月に開かれる全国家の光大会で長野県代表として発表を行います。



中山支部の取り組みを発表する洞澤さん

門松に幸せな一年を願って

門松づくり講習会を開催

12月19日、山辺ワイナリーで門松づくり講習会を開き、20人が参加しました。日本の伝統である門松を次代へつないでいこうと塩原園芸の従業員らが講師となり、松や梅、杉の葉、ナンテンなどJ A管内で採れた素材を使った昔ながらの門松を製作。参加者は「新年がよい年になるように自宅に飾りたい」と門松に願いを込めました。



講師から真剣に手順を学ぶ参加者

今月の表紙



摘果作業に感謝を込めて

生産者から生徒へりんごのプレゼント

りんご部会今井支部と山形果樹部会は11月24日、松本市山形村朝日村中学校組合立鉢盛中学校にサンふじ15ケース(540個)を寄贈しました。5月の繁忙期に同学校の2年生と3年生の生徒にりんごの摘果作業を協力してもらったお礼と、地元で採れたりんごのおいしさを知ってもらおうと企画。当日は、同支部・部会の村山善成支部長・上條泰清部会長が同校を訪れ校長にりんごを贈呈しました。



中川満英校長(左)にりんごを手渡す上條部会長(中)と村山支部長(右)

子ども食堂へ農産物を提供

余剰品や規格外品を有効活用

青年部波田支部は、コロナ禍でもできる新たな支部活動として、子ども食堂へ農産物の提供をはじめました。部員から余剰品や規格外の農産物を集めてこども食堂へ提供する一方で、余剰農産物の有効活用と地域貢献につなげようと実施。波田地区のこども食堂を中心に、行政や支援団体を通じて松本近郊地域のこども食堂へ継続的な提供を行っています。



農産物の提供に松本合同庁舎をおとすれた

酪農部会が食育活動

牛乳をたくさん飲んでね

酪農部会は12月3日、地元で生産している牛乳のおいさと酪農の大切さを知ってもらおうと、松本市島内保育園で食育活動を行いました。実物大の牛のポスターで牛乳について説明。園児たちは「牛さんはなにを食べるの」「なんで牛さんは白と黒なの」など疑問に思っていることを元気よく質問しながら牛乳について学んだほか、搾乳体験ができる牛型の模型で乳しぼりを体験しました。



園児に搾乳方法を指導する小沢幸治部会長

広丘支所でツリーを設置

クリスマスツリーで気持ちを明るく

広丘支所では12月1日、支所に来てくれた人にも少しでも明るい気持ちになってもらおうと、今年初めてクリスマスツリーを設置しました。女性部広丘支部と青年部塩尻支部の役員やJA役職員らが協力してオーナメントを手づくり。支所内に設置された約2メートルのクリスマスツリーに心を込めて飾りつけを行いました。



手作りのオーナメントを飾りつけた

女性の楽しいついで開催

絆を深め、親睦を図る

女性部は仲間との絆を強めるため2年に一度「女性の楽しいついで」を開催しています。今年度はオンラインのねりきり細工体験を12月から1月のあいだ、5回に分けて開催。12月6日に行



ねりきり細工に挑戦する参加者

た第1回目には42人が参加しました。参加者は会話を楽しみながら、ねりきり館に色をつけたり、はさみや抜型をつかって桜や菊をかたどったりし、1人3種類のねりきり細工を完成させました。

金融商品で地域福祉に貢献

「夢・ささえあい」寄付金を贈呈

福祉施設の設備拡充に向けて実施した、福祉支援定期貯金「夢・ささえあい」の総預入金額の0.01%に相当する44万106円を社会福祉法人松本ハイランドに寄贈しました。12月14日にグリーンパルで行った寄贈式では、田中均組合長から同法人の松澤幹夫理事長に目録を手渡しました。松澤理事長は「地域のみなさんの暮らしが少しでもよくなるように有効に活用していきたい」と話しました。



松澤理事長に支援金を手渡す田中組合長(右)

「風さやか」食味コンテストで受賞

選ばれつづける米をつくるために

島内地区の水稲農家、丸山敏光さんが、今年初めて長野県で開かれた第1回「風さやか」食味コンテストで「風さやか」推進協議会会長賞に輝きました。同コンテストは、玄米の食味分析や白米での味度値などの総合的な評価で審査。丸山さんは「受賞できたことはとてもうれしい。これからも消費者に選ばれつづける、品質の高い米をつくってきたい」と熱意を語りました。



賞状と自慢の米「風さやか」を手にする丸山さん

今井支所「夢あわせ農園」

野沢菜を収穫体験

今井支所は12月4日、支所協同活動の一環として今井保育園の園児と保護者を対象に野沢菜の収穫体験を開催しました。青年部員やJA職員が補助しながら、収穫と袋詰めを体験。参加者は親子で作業を分担するなど、協力しながら楽しみました。三村隆幸支部長は「農業を身近に感じてもらえるような機会をつくれたことをうれしく思う。来年もワクワクするような活動を計画したい」と意気込みました。



収穫体験を楽しむ親子

「軽トラ市」最終営業日をむかえる

今期もありがとう

女性部の有志らが自ら育てた農産物を軽トラ市などの荷台に積み込み、対面販売をする「軽トラ市」が11月27日、今期最後の営業を行いました。最終日もダイコンやりんご、ネギなど旬の農産物を販売。軽トラ市責任者の百瀬里津江さんは「たくさんのお客様が来てくれてよかったです。喜んでくれる人の姿を見ると、対面販売ならではの人のつながりの尊さを感じられた営業だった」と話しました。



軽トラックの周りに集まって買い物をする来場者

女性通信員からの話題

女性通信員
芳川

万が一に備えて防災研修

女性部芳川支部と芳川支所くらしの専門委員会は10月15日、芳川支所で防災について学んだほか、防災用品の研修会を行いました。万が一の災害に備えるため、芳川消防署の消防士を講師に学習。災害が多くなっている昨今、参加者同士「備えが大切だね」と話しあいましました。



防災用品を確認する参加者

ラジオでアルストロメリアをPR

12月15日に放送したFM長野「Oasis797」に花き部会アルストロメリア専門部の伊藤勝専門部長が出演。品種ごとに個性のある色合いを持つアルストロメリアの魅力をPRしたほか「家庭に花を飾ってほしい」と呼びかけました。



ラジオに出演した伊藤さん(右)と伊織智佳子アナウンサー(左)

女性通信員
島立

やっと開けた研修会

女性部島立支部と島立支所くらしの専門委員会は10月26日、合同研修会を開き20人が出席しました。研修会では、葬祭についてやSDGs、Aコープマーキ品など盛りだくさんの内容を勉強。研修内容を参考に身近な問題から積極的にトライしていこうと話しました。



真剣なようすで研修する参加者

女性通信員
里山辺

野菜ソースづくりに笑顔

女性部里山辺支部フレッシュミクスグループ「めだかの学校」は10月25日、野菜ソースづくりを行いました。トマトソース缶とたくさん野菜の果物を入れ長時間煮詰めることで、おいしい風味の野菜ソースが完成。久しぶりの料理教室に楽しく会話が弾みました。



野菜ソースを煮込む参加者

女性通信員
島内

いちごジャムづくりに挑戦

女性部島内支部と島内支所くらしの専門委員会は合同でいちごジャムづくりを行いました。地産地消を目的に、地元で収穫し、冷凍したいちごを自分たちで加工することで、安心安全のいちごジャムが出来あがりました。参加者同士の交流とともにおいしいいちごジャムが完成し大満足の1日になりました。



いちごジャムを煮込む参加者

女性通信員
麻績

新米3種食べ比べ

女性部筑北支部は10月27日、麻績支所と聖南支所の役職員との交流会を開きました。食を通して筑北米を知ろうと、コシヒカリのはげ掛け米とコンバインで収穫したお米、風さやかの三種の食べ比べを実施。食べ比べは難しかったものの、交流会は楽しく盛り上がりました。



食べ比べをするJA職員

女性通信員
新村

エークック調理器具で料理実演会

女性部新村支部と新村支所くらしの専門委員会はエークックの調理器具を使った調理実演会を行いました。エークックの担当者を講師に招き、絶妙な話し口調と、「呼吸おくまなく説明するようすに楽しく研修。参加者は「マンネリ化しがちな料理も新しい技を聞くと作る意欲が湧いてくるね」と話しました。



調理方法を真剣に聞く参加者

女性通信員
本郷

エコープマーク品で料理講習

女性部本郷支部と女鳥羽支所くらしの専門委員会は10月28日、エコープマーク品の研修会を行いました。小麦粉や乾麺、天ぷら粉、むしパンミックスなどを利用した料理を講師が実演。家庭に戻ってすぐに実践できる料理を学ぶことができました。



さまざまな料理を学んだ

直売所イベントカレンダー

モウ〜!とこトン食べてね! お肉の日

1月15日(土)~16日(日)

栽培講習会のお知らせ

JA直売部会で野菜の栽培講習会を開催します。

■ファーマーズガーデンやまべ

1月18日(火) 14:00~ 山辺支所

■ファーマーズガーデンやまがた・うちだ、 新鮮市場ききょう

1月20日(木) 14:00~ 山形支所・中
山寿支所ふれあい館・桔梗ワイナリー

■畑の彩り館きろろ

1月21日(金) 14:00~ 波田支所

■ファーマーズガーデンあかしな

1月24日(月) 14:00~ 明科支所

※参加をご希望される方は新型コロナウイルス感染拡大防止
対策(マスクの着用など)をお願いいたします

*イベント内容が店舗により異なりますので、詳しくは店舗へお問
い合わせください。

*予告なく内容・日程が変更となる場合があります。ご了承ください。



今月のオススメ! いちご



ファーマーズガーデンやまべ店長

清水 裕さん

新年あけましておめでとうございます!今年もい
ちご「草姫」が店頭にならんでいます。酸味がお
だやかなので、酸っぱいイチゴが苦手な人や子
どもにもおすすめ。ぜひ、練乳といっしょにお買
い求めください。

※1月~3月は毎週木曜日が定休日になります

ファーマーズガーデンやまがた...	☎98-5231	8:00~17:00	} 月曜定休
あかしな...	☎62-1230	8:00~17:00	
うちだ.....	☎88-3012	8:00~17:00	
やまべ.....	☎32-3644	8:30~17:00	
畑の彩り館きろろ.....	☎92-6003	9:00~18:00	月曜定休
新鮮市場ききょう.....	☎52-1965	8:30~17:30	無休

ゆめピーちゃんの今月はコレだね! Vol.21

冬こそおいしく牛乳を飲もう!

長引くコロナ禍での業務需要の低迷や年末年始・冬休みの学校給食の休止などに
より、牛乳の需要が落ち込み、大量に廃棄される恐れがあります。今年の冬は食品ロ
スを減らすためにも、いつもの買い物に牛乳を1本プラスしませんか?国では2030
年までに食品ロス削減の目標を設定しています。私たち一人ひとりが身近なところか
ら食品ロス削減を意識することが目標達成には必要不可欠です。シチューやリゾット、
ミルク鍋などの主食メニューに加え、おかずやスイーツなど、活用方法が牛乳にはた
くさんあります。牛乳をおいしく飲んで、食べてこの冬を元気にすごしましょう。



合併1周年定期貯金

ONE TEAM + ONE 好評取扱中!

取扱期間 令和4年1月31日(月)まで

お預入金額 20万円以上

お預入れ期間 1年以上

特典内容

預入期間 1年以上

適用金利 **年0.1%**

※お利息には、復興特別所得税を含み20.315%(国税15.315%、地方税5%)の分離課税が
適用されます。

※詳しい内容につきましてはお近くの各支所金融窓口までお問い合わせください。



笑顔の花咲く女性たち

女性通信員
川手

駅からハイキング

女性部川手支部は10月30日、明科駅から旧篠ノ井線の廃線敷にかけてウォーキングを行いました。ウォーキングコースの一部にある三五山トンネル内には、明科支所や同部員が協力して育てたかぼちゃで地元の小学生が作った「ジャック・オー・ランタン」も飾りつけられており、廃線敷の雰囲気と相まって、非日常の雰囲気を楽しみました。天候にも恵まれ、日頃の運動不足解消にと爽やかな汗を流しながらウォーキングを通して交流を深めました。



ウォーキングを楽しんだ

ものぐさ太郎まんじゅうづくり

女性部新村支部は、地域の伝承料理への理解を深めようと同支部の役員7人が参加して「ものぐさ太郎まんじゅうづくり」を行いました。開発者の一人である新村元子さんを講師に招き、作り方のコツなどを聞きながら挑戦。ものぐさ太郎が寝ていた



といわれる石枕の形をモチーフにした枕型をしており、皮の中にあんこを包みながら丸めていく工程に苦勞しつつも、きれいな枕型のまんじゅうができあがりました。

新村講師(左)に教わりながらものぐさ太郎まんじゅうをつくった

福祉だより

ゆめの里 入山辺 習字教室の様子

現在、松本圏域の新型コロナウイルスの感染警戒レベルが「1」に引き下げられていることから、ゆめの里 入山辺では、習字教室を再開いたしました。コロナウイルスの影響でボランティアさんや地域の方々との交流の機会が減っていましたが、久しぶりの習字教室に、入居者のみなさまはとてもいきいきとした表情で熱心に取り組まれていました。写真は11月9日に行われた習字教室のようすです。今後も感染状況を見ながら、地域の方々との交流の機会を設けていきたいと思います。

グループホーム ゆめの里 入山辺



JAいしのまき通信

姉妹JA「JAいしのまき」からの旬な情報をお届け!



第一線のプロフェッショナルが語る サツマイモ栽培の軌跡とこれから

JAいしのまきさつまいも生産組合の鈴木貴郎組合長は11月30日、これからの日本の農林水産業と地域社会をどのように展望し、その未来を切り拓いていくかをテーマとしている一橋大学経済学部の開講科目の「自然資源経済論A」でゲスト講師としてオンライン講義を行いました。

鈴木組合長は組合発足から現在までの2年間の取り組みや青年部と協力体制を確立し、農業者以外の青年部員がサツマイモ栽培に携わっていること、JAと若手生産者が協力して地域の課題解決に取り組んでいる事例などを説明しました。

ライブ配信では受講者とリアルタイムでの質疑応答も行われ、「今後の展望は」との質問に対し、鈴木組合長は「面積の拡大と栽培したサツマイモを活用して6次化商品の開発に取り組んでいきたい」と回答しました。



自分たちの取り組みや今後について講義する鈴木組合長



納得できるまでつくりつづける

島内・東方 犬飼 正代さん



「15年以上前から友達の家に4~5人で頻りに集まって、いろいろな手芸に挑戦してたの。そこで新しい編み方を教わったり、折り紙に挑戦したり。それが楽しくてね」と笑顔で話す犬飼さん。いま一番はまっているのはアクリルたわしづくり。「いつでも、どこでも気軽に編むことができるからね。途中で編み目が合わなくなったときは全部ほどいて最初からやり直すの。ごまかすってことができないから。でも、何回も苦労してやり直したときほど、仕上がったときはうれしいの」と目を輝かせます。昔から母親が冬になると刺しゅうなどをしているのを見ていた影響で、自然と自分もやりたいと思い、はじめた手芸。「人がやっているのを見ると自分でもやりたくなっちゃうの。1つ教わったら、自分が納得できるまで5つでも6つでもつくりつづけるの。私は凝り性なんだと思うわ。納得できたら新しい作品に挑戦するの」とほほ笑みます。次は畳のヘリを使ったバックづくりに挑戦しようと構想を膨らませています。

芳川・村井
高嶋 実莉ちゃん(12歳)
咲典くん (9歳)

(母) 碧さん

ハイランドキッズ



じじから
灰焼きお焼きの
つくり方を
教わったの!
楽しいよ

家の畑でトマトにきゅうり、キウイフルーツとか、いっぱいつくったよ。とってもおいしかった。次の夏はトウモロコシも育てたいな!

家族からひと言 健康で元気に過ごしてね

お母さんのつくる
みそ汁おいしい!
豆腐とダイコン、
サツマイモは
欠かせないんだ

Nice Guy

父を支えるために成長したい

四賀・中川 武川 哲也さん

県内を中心に卵やオイル、建材などの運送をする父親の会社「武川総業(株)」に勤め7年目を迎える哲也さん。幼いころから「いつか多忙な仕事の助けになりたい」と考え、大学卒業を機に家業への就職を決意しました。

朝早くから1日10時間トラックにのることもしばしば。「事故・遅延・破損など常に気を張っていないといけないのが大変ですね」と苦笑いです。県内の道に詳しくなるなど仕事で日常生活に役だつことも。「仕事以外でも渋滞を避けて時間を有効に使いたくなる職業病がでてしまうことも多いですね」と笑顔です。

「近い将来、会社を動かす父と同じ立場で支えていきたい」と今後の展望を語る哲也さん。「ありがたいことに最近では多く仕事をもらっている分、人手が足りなくなることが多いんです。普段の業務と並行して人材の確保や社員教育の知識も深めていきたい」と熱が入ります。



■広報誌「夢あわせ」11月号の旬感クッキング「炊飯器で簡単りんごケーキ」についてみました。簡単でおいしいとおやつにぴったりです。次回はちがうくだものでつくってみたいと思います。
(松本/原 睦枝さん)

■毎年干し柿をつくっていた木が今年は10個しかできませんでした。収穫した柿をさわるとやわらかく、食べると甘い柿でした。ということとは、何年も甘柿で干し柿をつくっていたのかな？
(中山寿/びんくりのりばあさん)

■今年はダンボールでたい肥づくり挑戦し、そろそろ終盤です。来年は今年以上においしい野菜が収穫できそうです。ウキウキしています。穏やかな気候であることだけを祈っています。
(女鳥羽/のんびりママさん)

■もうすぐ家庭菜園の仕事が終わります。今年は豊作でした。一部は虫の被害を受けましたが、ダイコンは白く大きく育ちました。中学校の支援学級で販売してもらい先生方によろこばれました。
(朝日/横山吉美さん)

■漬物の季節になりました。ダイコンが豊作で、たくあん漬けが楽しみです。
(笹賀/赤羽 剛さん)

■ダイコンと野沢菜を漬けました。畑を見ると野沢菜の大きな「カブ」が捨てられていました。もったいないと思いついて、小さく切って干し、寒い時期に煮物にして食べようと思います。
(朝日/ケチ子さん)

■春収穫したタマネギが例年より大きくなりうれしいです。干本植えました。草とりをこまめにしたいと思います。
(麻績/ゆづるさん)

■大豆を収穫しました。昨年はシカの影響でほぼ全滅。今年は期待できそうです。自家製みそをつくりたいです。
(聖南/荒田久美子さん)

■最近、ようやくコロナウイルスの感染状況も落ち着いてきましたが、油断はできず相変わらずです。シルバーさんに庭木の手入れをしていただき、少しスッキリしました。感謝です。
(明科/内川さつ子さん)

■朝、散歩をしています。冬の足音を感じます。東の空に朝焼けが広がり、とても得をした気分になります。
(神林/渡辺田鶴さん)

■孫の野球の試合を夫婦で見に行きました。控えのピッチャーなので試合中何回もピッチングの練習をしていました。登板はありませんでしたが、ピッチングする姿が見えたので、満足！満足！
(塩尻/清水長光さん)

プレゼントクイズ クイズに答えてプレゼントをもらおう!

問題 「●●●●ポイント」の交換期限が迫っています!

●に入ることばを答えてね。

ヒントは14ページ、JAインフォメーション!

今月のプレゼント
まごころ商品券
(3,000円分)を
1名様にプレゼント



390-8555

(住所不要)

JA松本ハイランド
「みんなの声」係

- クイズの答え
- 住所・氏名・年齢
職業・電話番号
- 身近なエピソード
イラストなど
- 本誌・JAへのご意見
・ご要望、参考になった
・ならなかった
コーナーなど

みなさんの声を
ひと言添えて
ください



応募の締切

2月8日(火) 消印有効

Eメールでもお気軽にどうぞ。
kouhou@mhl.nn-ja.or.jp

■12月号のクイズの答え

花

■11月号の当選者

賞品の発送をもってかえさせていただきます。

お便りをお待ちしています!

身近なエピソード、地域の情報、イラスト、短歌・俳句、赤ちゃん・ペットの写真など、どしどしお寄せください。また広報誌各コーナーへのご質問やご感想などもお寄せください。

※作品・写真は返却できません。お便りは、誌面に掲載する場合があります。

※応募で記載された個人情報「みんなの声」への掲載、プレゼントの抽選・当選発表以外には利用いたしません。

わたしたちのJA

理事会だより

■協議事項

- ①第3・四半期事業実績・決算結果及び2月未決算推定について
- ②内部監査における外部委託の導入について
- ③職制規程の改正について
- ④令和4年度事業方針の樹立について
- ⑤出資口数の減少について
- ⑥2023年度職員募集計画について
- ⑦夢づくりサポート事業実施要項の制定について
- ⑧生産資材価格支援対策実施要項の制定について
- ⑨朝日生活店舗の閉店について

■報告事項

- ①みのり監査法人期中Ⅲ監査の受け入れについて
- ②コンプライアンスプログラムの取組状況について
- ③組合員組織会計事務取扱要領等の改正について
- ④固定化債権回収状況について
- ⑤部分直接償却実施債権の管理・回収状況について
- ⑥税務調査結果に伴う助成金のあり方について
- ⑦労組秋期年末要求と結果について

令和3年12月28日・グリーンパル 西館(予定)

- ⑧余裕金の運用状況及び次月余裕金運用計画について
- ⑨貸出強化の取組みについて
- ⑩賃貸住宅取得資金等特別貸出要項実行状況について
- ⑪県下統一ローン融資要領の改正について
- ⑫令和3年度農業災害に伴うJA支援対策について

JAの状況 令和3年11月末現在

正組合員数	24,915人	貸出金	871億7千万円
准組合員数	15,853人	農産物販売高	162億5千万円
貯金	3,957億9千万円	購買品利用高	90億2千万円



山辺ワイナリーだより



あけましておめでとうございます。今年も山辺ワイナリーを
よろしくお願いたします。

たくさんの年代ワインをそろえておりますので、お気軽に
スタッフにお声がけください。

2021年ワインも好評発売中です。ぜひご来店ください。

少しだけ飲みたい方にハーフボトルワインもおすすめです



2019ナイアガラ甘口ハーフボトル

アルコール度10.5% 360ml 価格810円(税込)

2019コンコード甘口ハーフボトル

アルコール度10.5% 360ml 価格810円(税込)

お問い合わせ 山辺ワイナリー(8:30~17:00) ☎32-3644

※レストランマリアージュは10:00~ 不定休



JAファーム今井だより

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

今年も身近でお役にたてる店づくりをすすめます。農業資材・園芸資材のこ
となら「JAファーム今井」にお任せください。

決算セール!! 2月11日(金)~13日(日)

今回限りの特価品をご用意してお待ちしています!

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止及び内容の変更になる場合があります。

お問い合わせ JAファーム今井 ☎59-1088

1月~2月の営業時間 8:45~16:30 **定休日** ~2月 毎週水曜日



「夢あわせポイント」の 交換期限が迫っています!

平成30年度中に付与された「夢
あわせポイント」の有効期限は、
本年度末(令和4年2月28日)ま
でとなっており、有効期限が過ぎ
ますとポイントが失効となります。



還元手続きは令和4年2月28日(月)金融窓口営
業時間までに最寄りの支所でお願します。

お問い合わせ 各支所金融共済課

または総務企画部管理課 ☎26-1400(代)



不審な訪問にご注意ください!

「JA職員を名乗る不審な人物が訪ねてきて『雨どいや瓦
が壊れている』『直せば共済金がおおりる』などと言われた」と
いう相談が寄せられています。

JA共済では、加入者に対し、建物や家財の損害調査の際
には訪問する場合があります。その場合には、職員証を携帯
し身分を明らかにしたうえで訪問を行っています。

●顔見知りでない者が訪問した際は職員証や名
刺を確認し、不審な点がある場合はその場で
の契約などは避けてください。

●JA職員を名乗る不審な訪問や電話などが
あった場合は、警察または最寄りの支所まで
ご相談ください。



JA松本ハイランド 夢あわせ大学 受講生募集

協同活動みらい塾 第8期生

協同活動の本質を学び、協同組合意識を高めるとともに、
幅広い視野でJA運動をけん引するリーダーの育成をめざ
します。協同組合論、地域の農業、地域づくり、6次産業、地
域の観光など幅広いカリキュラムが魅力です。

募集人員 各支所1~2名

(当JAの組合員でおおむね40歳~65歳)

受講料 無料(講座によっては、材料代など実費が必要です)

募集締切 令和4年2月15日(火)

申し込み 各支所支所長

(申し込み受付後、支所運営委員会で選考のう
え、推薦・決定します)

お問い合わせ 総務企画部組合員文化広報課 ☎26-2301

緊急連絡先

市外局番は全て0263となります

■自動車共済事故受付(24時間・365日)
☎0120-258931

■LPガス(24時間対応)
☎26-3015

■葬儀(24時間受付)
JA虹のホール 芳川:☎85-0022



岡田:☎45-0700
はた:☎92-3414
筑北:☎67-1155

塩尻地区葬祭直通携帯:090-4833-5040

■CDカード(キャッシュカード)
夜間・休日事故受付
☎0120-024040

■JAカード(クレジットカード)事故受付
☎0120-159674(24時間対応)

■ENEOSカード(クレジットカード)
事故受付(24時間・365日)
TSS3(トヨタファイナンス)
☎052-239-2811

NICOS(三菱UFJニコス株)
☎0120-159674

くらしの連絡先

■灯油の定期配送
中西部配送基地 ☎47-0105
東部配送基地 ☎36-5206
四賀・川手配送基地 ☎64-4560
筑北配送基地 ☎66-3939
朝日配送基地 ☎99-2018
塩尻配送基地 ☎52-0346

■料理の注文
支所営農生活課

■JAまごころ宅配の注文変更・休止など
生活購買センター
☎0120-157118

■塩尻支所くらしのセンター
(塩尻地区葬儀含む) ☎53-5350

■家電製品の注文・修理
LPガス住設課 ☎26-3015

TV MAITSUMOTO CABLEVISION **テレビ松本**

毎日放送中!! JAお知らせ番組(15分)
「JA松本ハイランド情報」
6:45、7:30、12:00、18:30、23:30
※変更となる場合があります

JAのホットな話題をお茶の間に!
JA企画番組「JAグリーンタイム」
毎月第一週(日を除き毎日放送・各15分)
※変更となる場合があります
9:30、13:30、18:30、22:30

編集畑から

あけましておめでとうございます。今月号の特集は、フォトコンテストの結果発表でしたが、見ていただけましたか?応募していただいた写真も大切な思い出が込められた1枚なんだろうなと思いつつながら見させていただきました。応募して下さったみなさん、投票に参加して下さったみなさん、本当にありがとうございました。(株)

JAカレンダー

1月17日～2月17日

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止・延期とさせていただきます場合があります。

くらしを応援! みんなの相談会

1	19日(水)	土地建物相談会(広丘支所、13:30～17:00、要予約) 年金相談会(神林支所、9:30～15:30)
	21日(金)	年金相談会(麻績支所・片丘地域交流センター、9:30～15:30)
	25日(火)	年金相談会(今井支所、9:30～15:30)
	26日(水)	土地建物相談会(グリーンパル東館1階、13:30～17:00、要予約)
	27日(木)	年金相談会(山形支所、9:30～15:30)
2	4日(金)	年金相談会(和田支所、9:30～15:30)
	9日(水)	土地建物相談会(グリーンパル東館1階、13:30～17:00、要予約) 年金相談会(波田支所、9:30～15:30)
	14日(月)	年金相談会(塩尻地域交流センター、9:30～15:30)
	16日(水)	土地建物相談会(広丘支所、13:30～17:00、要予約)
	17日(木)	年金相談会(島立支所、9:30～15:30)

※虹のホール事前相談会への参加を希望される方は、事前に各施設にご連絡ください。

お問い合わせ 土地建物相談会は資産相談課 ☎28-3060
年金・相続相談は総合相談センターライフサポートプラザ ☎46-1562
年金相談会は各支所金融共済課(年金相談会へ出席される場合は事前にご予約ください)

組合員組織・生産部会などの予定

1	31日(月)	松本市農業再生協議会総会
	1日(火)	農家組合長会会長
2	4日(金)	支所運営懇談会(～14日)
	8日(火)	塩尻市農業再生協議会総会



生産者むけの説明会を開催します

「しっておきたい雇用のこと」 予約制
「農福連携」「1日農業バイト」について
研修会を開催します!

日時 令和4年2月1日(火) 午後1:30～ 場所 グリーンパル西館2階 大会議室
お問い合わせ・お申し込み 各支所営農生活課まで

今月の
レシピ提案者

肉まきおにぎり

材料(5~6人分)

ごはん	300g	塩	少々
牛肉	6枚(すき焼き用薄切り肉)	油	少々
A { しょう油	大さじ1	粗びき黒こしょう・七味	少々
みりん	大さじ1		

つくり方

- ①ごはんを6等分し、俵型の塩おにぎりをつくる。
- ②おにぎりに牛肉(すき焼き用薄切り肉)を巻き、油をひいたフライパンで焦げ目がつくまで焼く。
- ③Aの調味料をあわせて入れ、味を整える。お好みで粗びきこしょう・七味をふりかける。



牛肉の主な栄養素と効果

骨や筋肉、皮膚などの体の組織をつくるのに重要な栄養素であるたんぱく質が豊富。また、疲労回復効果や脳神経の働きを助けるビタミンB1、皮膚や粘膜の再生を助けたり脂質や糖質をエネルギーに変えたりするビタミンB2、貧血を防止するヘム鉄なども含まれる。



波田・9区 野村 光江さん

おにぎりに牛肉を巻いているので、食べ応えもありボリューム満点です。子どもたちにもとても喜ばれる1品。お弁当のおかずにするのもおすすめです。あっさり食べたいときは豚肉、がっつり食べたいときは牛肉とお肉の種類を変えても楽しめますよ!



松本ハイランド農業協同組合

〒390-8555 長野県松本市南松本1-2-16 TEL.0263-26-1400 FAX.0263-27-6621
<https://www.ja-m.iijan.or.jp/> / [✉kouhou@mhl.nn-ja.or.jp](mailto:kouhou@mhl.nn-ja.or.jp)

国産農産物を大切に!

スマートフォンで
アクセス

大豆油インキと再生紙を使用しています。